

コロナウイルスだけではなく！ ～夏に集団感染を起こすウイルス感染症～

大島 伸一 医師

以前から高齢者施設ではインフルエンザの集団感染が度々起こっています。理由はいろいろありますが主なものとしては、①集団生活で利用者さん同士の距離が近いこと。②免疫力が低下しているので症状が分かりにくく、長引きやすいこと。③認知機能低下があると手洗いや咳エチケットなどの感染対策が困難であること、などです。

インフルエンザは冬の感染症でしたが、最近はそれがコロナウイルス感染症（COVID-19）に置き換わり、夏でも流行するようになりました。夏に風邪症状の集団感染が起こった場合、COVID-19を念頭に置いて対処することになります。まずは診断のために有症状者の鼻咽頭から検体を採取して迅速検査を行います。この検査の感度（感染者を陽性と判定する確率）は70%程度なので、感染者の3割は検査結果陰性に出てしまいます。そのため日を変えて検査をしますが、何人かを何回か検査して陰性の場合、その集団感染の原因はCOVID-19ではありません。

高齢者施設での集団感染ではヒトメタニューモウイルス（hMPV）とRSウイルス（respiratory syncytial virus: RSV）とに注意が必要です。いずれも気道感染症で、5日間程の潜伏期間の後に鼻水や咳、発熱といった風邪症状で始まり、1週間程度で自然に治ります。小さいお子さんが感染することが多いのですが、大人にも感染し、高齢者では重症化のリスクもあります。hMPVは春に流行、RSVは夏に流行する傾向があり、感染経路は飛沫感染、接触感染です。鼻咽頭からの迅速検査もできますが、保険適応年齢が決まっており、hMPVは6歳未満、RSVは1歳未満のみ適応されます。特別な治療法は無く、対症療法のみとなります。細菌感染を合併した場合は抗生物質が使用されます。一度かかったからといっても免疫は獲得できず、繰り返し感染するリスクもあります。

当院では常日頃から、感染症の有無にかかわらず、すべての人に対して「誰もが何らかの感染症をもっているかもしれない、湿性生体物質には感染性がある」とみなして対応する「標準予防策」を行っています。



病棟責任者になってから

看護主任 木立 宏美

現在の病棟に異動してから7月で3年になります。はじめのころは病棟に慣れること、業務を覚えることに必死で管理に集中というわけにはいきませんでした。周囲を俯瞰してみることができなかったのを思い出します。現在は日々の業務に追われながらも徐々に周囲の動きを見られるようになりましたが、まだまだ不足しているところはあると実感します。そんな中でも最近は看護師の入職もあり、新しい風が吹いているのを感じながら働きやすい環境を考える時間ができているのも現状です。

病棟での業務は医師、看護師、介護士、リハビリの理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、そして歯科衛生士など様々な専門職が連携しています。その中で入所者ファーストを大切に考えたケアができるよう調整役として機能していくことが自分の役割だと考えています。



5病棟は手先が器用な職員が多く、多忙な業務の合間にも季節の物を手作りして病棟内を飾ってくれています。入所者様やご家族にも喜ばれています。入所者様やご家族に対して丁寧に対応し、入所者様の気持ちをよく考え意見を述べてくれる職員も多いです。良いところがたくさんある病棟です。これからもそういったところを大切に、より良い病棟にして行けたらと思っています。

新入職員紹介

2病棟 介護士 市川

入職して2か月目になります。訪問入浴介護での経験が4年ほどありますが、より幅広く生活全般のケアに携わりたいと思い入職しました。

職種は同じでも使う言葉や、やり方が違うところがあり日々勉強の毎日です。各病棟に他の職種の方々がいる、介護以外のこともいろいろと勉強になります。

今までは入浴介助だけなので不慣れなところもあると思いますが、今後のスキルアップのためにも多くのことを学んで力になれるように頑張ります。

5病棟 看護師 石垣

優しい先輩たちに親切に仕事を教えていただきながら日々がんばっています。

常に学ぶ姿勢を大切にしながら、丁寧な看護を心がけています。

よろしくお願いします。



職員募集

- 看護職
- 介護職
- 薬剤師
- 入院相談員

就職祝い金を支給いたします
前職の給与を考慮します！！

詳しい
お問い合わせは

☎0538-49-2211 担当：事務長

求人の詳細はこちらへ

ブログも
更新中



<https://www.mitsukawa-fukuroi.jp/>